

【当麻町】森林環境譲与税の使途（令和3年度：決算）

事業区分	事業名	事業総額（千円）			当年度 基金への 積立額 （千円）	事業内容	税導入の効果（実績）
		(A)+(B)	うち令和 3年度の 森林環境 譲与税 （千円） (A)	うち他 の財源 （千円） (B)			
意向調査、集積計画等作成	森林経営管理意向調査委託料	1,500	1,500			意向調査対象の整理及び意向調査票の作成と発送（62件）調査結果の集計、分析、報告書作成。	【ワンフーズ】 R2年度までに意向調査の準備作業を行い、R3年度より実際に意向調査を開始している。また、R3年度から民有林等の整備に対する補助事業を開始し、森林整備を更に促進している。
意向調査、集積計画等作成	森林管理システムデータ更新委託料	55	55			意向調査準備委託業務の成果品データを用いて森林管理システムのデータ更新を行った。	【詳細】 本町の森林面積は13,395haで行政区域面積の約65%を占めており、そのうち町有林は4,391ha、町有林を除く一般民有林（私有林）は2,599haある。
その他 (人材育成等)	北海道林業・木材産業人材育成支援協議会賛助金	30	30	0		次代を担う人材の育成を図るため、令和2年度より開校した「北の森づくり専門学院」を支援する、「北海道林業・木材産業人材育成支援協議会」に対して賛助金を支出した。	本町では、森林の有する多面的機能の持続的な発展に向けて、これまで国や道の森林整備事業予算や町単独予算などにより森林の整備を進めてきたが、木材価格の低迷による森林所有者の不在村化、相続による世代交代などから整備が行き届かない森林の増加が懸念されている。このため、本町では、国から譲与される森林環境譲与税を有効に活用して、基本方針に基づき、適切な森林の整備やその促進につながる取組を計画的にかつ効果的に進める。
私有林整備	民有林等整備促進事業補助金	5,556	5,556	0		民有林等の整備を促進するため、人工林の保育、作業道整備、経営指導等に対して補助をした。 【補助率】 根踏・下刈：10,000円/ha（上乘せ） 除伐・保育間伐・間伐・枝打ち：20,000円/ha（上乘せ） 森林作業道整備：3/4（1,362千円） 民有林指導：1/2（1,700千円）	残額は、翌年度以降の森林整備等（意向調査・補助事業含む）に使用するため基金に積立てた
基金積立（森林整備等）	森林環境整備基金	108	108	0	108	「基金設立の目的」森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第1条に規定する森林の整備及びその促進に関する施策に要する経費の財源に充てる資金。 意向調査及び民有林等の整備に対する補助事業に加え、意向調査結果に応じて森林整備等の事業に順次取り掛かる予定。 積立額：4,064千円	
合計		7,249	7,249	0	0		